

首都圏

成田国際空港

北千葉道路の早期整備に関する

要望書

北千葉道路建設促進期成同盟

令和8年7月14日

様

北千葉道路建設促進期成同盟

会 長	鎌ヶ谷市長	芝 田 裕 美
副会長	市 川 市 長	田 中 甲
副会長	印 西 市 長	藤 代 健 吾
委 員	船 橋 市 長	松 戸 徹
委 員	松 戸 市 長	松 戸 隆 政
委 員	成 田 市 長	小 泉 一 成
委 員	白 井 市 長	笠 井 喜久雄

監事	成田市議会議長	荒木	博
監事	白井市議会議長	伊藤	仁
委員	市川市議会議長	大久保	たかし
委員	船橋市議会議長	岡田	とおる
委員	松戸市議会議長	渋谷	剛士
委員	鎌ヶ谷市議会議長	針貝	和幸
委員	印西市議会議長	近藤	瑞枝

北千葉道路の早期整備に関する要望書

《内 容》

北千葉道路は、東京外かく環状道路と成田国際空港を最短ルートで結び、首都圏の国際競争力の強化や周辺道路の渋滞緩和による物流等の効率化や地域産業振興などの経済の好循環をもたらすストック効果、地盤の強い北総台地上をルートとする緊急輸送道路としての役割が期待されております。

また、成田国際空港の「第2の開港」に向けた動きや、圏央道の開通を控える中で、未整備区間である市川市から鎌ヶ谷市間、及び事業中である成田市押畑から大山間を含む北千葉道路全線開通への機運が一段と高まっているものと確信しております。

特に、未整備区間である市川市から鎌ヶ谷市間約9 kmを含む、小室IC以西の約15 kmについては、市川市と松戸市の区間の専用部1.9 km、一般部3.5 kmが令和8年4月から、国の直轄指定区間となり、現在、用地取得が進められています。

沿線市としても、用地取得促進プロジェクトチームに参画するなど、同区間の事業促進に向けて取り組んでいるところです。また、未事業化区間においては、地籍調査を推進し、国による事業化に向けた環境を整えてまいります。

つきましては、地域にとって利便性の高い北千葉道路の早期全線開通の実現に向けて、次の事項について、特段の御高配を賜りますよう、ここに要望いたします。

1. 北千葉道路の西側区間（小室 I C以西）

- ・事業中の北千葉道路（市川・松戸）の早期整備を国に働きかけること。
- ・全線開通による事業効果を早期に発揮させるため、市川市から船橋市までの未事業化区間については、早期事業化を国に働きかけること。
- ・圏央道（大栄～松尾横芝）の開通により複数経路が選択できることから、料金水準の整理・統一にあたっては、急激な負担増とならないような配慮及び段階的な移行と有料道路事業の活用による新たなネットワークの整備促進を国に働きかけること。

1. 北千葉道路の東側区間（印西市から成田市間）

- ・印西市から成田市間は、必要な予算を確保し、早期開通及び4車線化を図ること。
- 1. 国道16号以东についても信号なく直結する規格の高い道路として計画見直しを国に働きかけるとともに、国道464号全線の直轄編入を国に働きかけること。
- 1. 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、令和9年度道路関係予算は、資材価格等の高騰、人件費の上昇等の影響を加味した上で、必要な予算の確保を国に働きかけること。

